

# ～学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業の取組事例～

## 学校・地域保健連携推進事業(専門家派遣)【宮城県教育委員会】

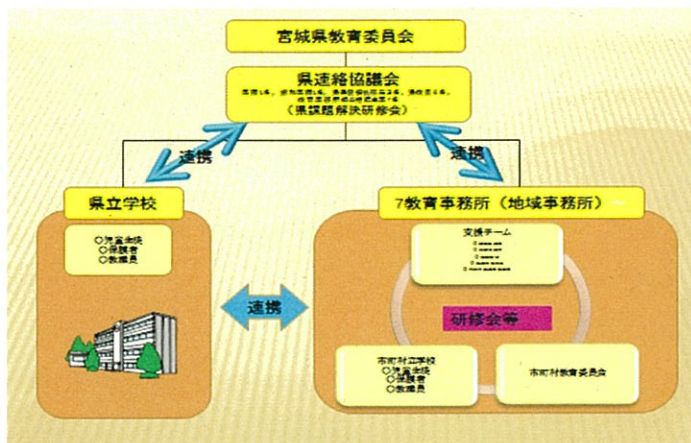
### 取組の基本理念

被災地の児童生徒の健康課題に対応するため、各学校に対し、地域の各診療科の専門医(医師, 心理学・教育学に関する専門知識を有する学識経験者等)を講師として派遣し、各学校が必要な指導・助言を得ることにより、健康教育の充実を図る。

### 取組の概要

県内のべ60校に専門家を派遣

講演・研修会のテーマ	平成25年度				計
	小	中	高校	特別支援	
性に関する教育	4	8	20	0	32
心の健康(カウンセリング含む)	4	3	1	1	9
各種疾患について	0	0	0	1	1
発達障害・特別支援	1	0	1	3	5
たばこの害	0	0	1	0	1
生活習慣等	2	0	2	0	4
歯科保健・摂食指導	1	0	0	1	2
姿勢	1	0	0	0	1
放射能と健康管理	1	0	0	0	1
家庭問題	2	0	0	0	2
メディア障害	1	1	0	0	2
合計	17	12	25	6	60



### 事業概要

県内の公立小・中学校, 高等学校, 特別支援学校を対象に, 児童生徒を対象とした保健講話や教職員の研修会等を実施する。第1回県連絡協議会にて県学校保健会や歯科医師会及び保健福祉部, 各教育事務所担当者で宮城県の健康課題について共通理解をし事業を実施。事業終了時第2回県連絡協議会にて事業の成果の検証をする。



教育研究会研修会



学校・地域保健講演会



「生命誕生及び二次性徴」